

キャラクター名
アナスタシア・イヴァノヴナ・スルコフ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	中学生
	モルフェウス				
オプション		年齢	16	性別	♀
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	35%
出自	ロシア・ウラジオストク	経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	13
感覚	4	1	1			6	(非装備時)	13
精神	0	0	1			1	戦闘移動	18
社会	2	0	0			2	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
スパートニク	射撃	6r+2	3	+5		ハンドレットガンズ(以下HG)使用
スパートニク 100%	射撃	6r+2	3	+6		HG使用
ツァーリ・プーシカ (①+④+⑤)	射撃	6r+2	6	+8 (+5)		(+5)はHG使用時【1】
// 60%	射撃	6r+2	6	+8 (+5)		//

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
"ブループロッサム"井出月華P	信頼	N 不安		
ビード・ジョッキー"六原丈流P	執着	N 侮蔑		
日紫鬼 冷華	P 好奇心	N 侮蔑		
駆動 雷電	P 尊敬	N 恐怖		
ペタゴギー	P 執着	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CL:モルフェウス	2	2	メジャー					
効果:	①C値を-Lv							
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	②【武器作成】攻:+[Lv+4]、射程30m 射撃							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決		
効果:	③対象を「範囲(選択)」に変更 使用後、武器消滅							
レインフォース	4	2	メジャー			自動	ピコ17	
効果:	④攻+Lv*2							
カスタマイズ	1	2	メジャー	武器		対決		
効果:	⑤ダイス+Lv個							
クリスタライズ	5	4	メジャー			対決	100↑	
効果:	⑥攻:+Lv*3、装甲無視							
折りたたみ	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果:	大きさにかわかわらずLv個までの物を隠せる							
無上厨师	★		メジャー	至近		自動		
効果:	大気やその場にある物質を使い料理を作れる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

天アル
この世に生を受けて間もないころにレネゲイドウィルスが発症しオーヴァードとなる。UGNチルドレンとして育てられ幼い頃から訓練を積んできた。ロシア出身ではあるが、日本近郊のウラジオストクという土地柄、日本についても知る必要があり日本語も習得している。愛国心が強くロシアを思う気持ちは人一倍であり、いつか祖国ロシアのために心血を注ぎたいと望んでいる。
14歳の時にUGNのチルドレンとしての任務に当たるため来日。そのまま日本の支部に配属され続け2年が経ち高校生のUGNチルドレンとして活躍して。大きくなったなあ・・・
現在では日本での生活にもすっかり慣れ高校進学を期に一人暮らしを始めながら任務に励んでいる。今では日本のことを第2の故郷とし、ロシアの次に大切な守るべきものをして考えている。
EEの無上厨师を使いほぼ毎日ご飯を作っているため手料理は苦手。

俺ザンギ
この世に生を受けて間もないころにレネゲイドウィルスが発症しオーヴァードとなる。UGNチルドレンとして育てられ幼い頃から訓練を積んできた。ロシア出身ではあるが、日本近郊のウラジオストクという土地柄、日本についても知る必要があり日本語も勉強している。日本に関しての知識はあるが、日本に行くのは今回が初めてであるがあまり乗り気ではない。そもそも彼女は日本について「平和な民族の集まり」と考え見下している。更に彼女は酒を呑むだけで仕事もしないロシア国内の男性に対してもよく思っていない。しかしロシアを思う気持ちは人一倍であり、祖国ロシアのために心血を注ぎたいと望んでいる。
彼女の父親のイヴァンも元KGBであり、強い愛国心を持った人物であった。そんな父の遺産もあってか、彼女自身も愛国心にあふれた少女であった。時折彼女はUGNの職員を通じて父と交流しており、父の話を聞く内、彼女の父に対する尊敬の念とロシアに対する愛国心はより一層強いものとなった。将来父と一緒に暮らすことが、彼女のささやかな夢であった。だから彼女はこんな一人のUGNのエージェントとして命を落とすわけには行かなかった。ましてこんな日本の地で一生を終えるなど論外であった。

ちなみにロシアのUGNは国内外におけるFHの撲滅、レネゲイドウィルス及びオーヴァードの調査という目的から、KGBの後進ロシア国内の治安機関及び諜報機関